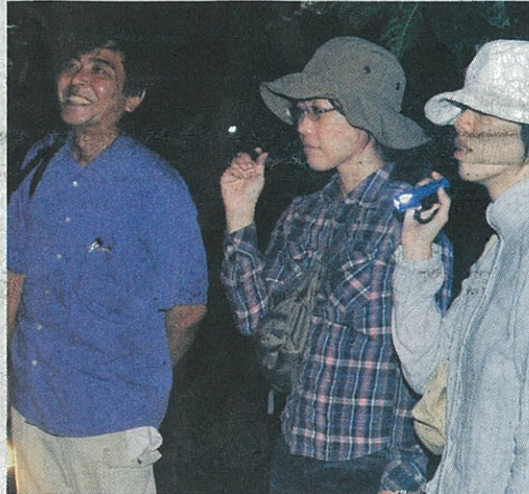


サガリバナ本格開花

宮古島
環境ク

平良添道で観察会

下地会長（左）に説明を受けながら興味深そうにサガリバナを観察する参加者ら
＝19日夜、平良添道の遊水地



辺り一面に芳香を漂わせて花を咲かせるサガリバナ

宮古島環境クラブ（下地邦輝会長）などが主催する「第5回MECワークショ

もともと自生していたサガリバナ壮齢木の種子や実生の苗木を用いて2002年3月、旧平良市の「村づくり課」と「みどり推進課」によって植えられたもの。4年前からおきなわ環境クラブ宮古支部と宮古島市むらづくり課が雑木、雑草の除去と施肥などの生産管理を行っている。また、市民から管理者を募る「MYキープロジェクト」を展開し、2カ月に1回雑草の刈り取りなどの手入れを行っている。

下地会長は「今後、ライトアップやエコツアープログラムを展開し、管理者をはじめ多くの市民と木々の成長を楽しみたい」と話した。



夜の花・サガリバナを観察する参加者ら
19日夜、宮古島市平良の添道遊水池

しっとり、芳香漂わせ

サガリバナ

宮古で観察会

【宮古島】闇の中に芳香を漂わせて咲く夜の花・サガリバナを観察しようと、宮古島環境クラブ（MEC）と

おきなわ環境クラブは19日、宮古島市平良の添道サガリバナ遊水池で「第5回MECワイクショップ添道サガリバナ観察会」を開いた。参加者約30人は、手にした懐中電灯の光に浮かび上がったサガリバナを眺めたり、香

りを楽しんだ。

2002年に、旧平良市が自生していたサガリバナの種子などを植え、現在では宮古島市の両クラブが周辺の草刈りなどの手入れをしている。

MECの下地邦輝会長は「植栽して8年目で、やっと花見ができるようになった。宮古島にはハブがいないので、夜でも花見が安心してできる」と話した。台風が来なければ、7月中旬ごろまで見ごろが続くという。